

## 創成学習開発センターの学生による自主創成活動

田村 和大<sup>1</sup>，山本 一仁<sup>1</sup>，英 崇夫<sup>2</sup>

<sup>1</sup>徳島大学工学部機械工学科 2年

<sup>2</sup>徳島大学工学部創成学習開発センター

### 1. はじめに

徳島大学工学部創成学習開発センターは、創造性豊かな質の高い人材の育成を図るため、学生の創造性を育成する学習法の開発と学習達成度評価法の開発を行うとともに、その成果を学内外に情報発信し、創造性教育の推進を支援することを目的としている。

この目的を達成するために、センターでは多くの学生が自主プロジェクトを立ち上げて活動している。また、学生たちはプロジェクトリーダー会を組織してプロジェクト間の連携を図ることに努めると共に、様々な活動を行っている。

その活動を通して、センターに参加している学生は自主性や共創性など創造力に必要な能力を育むと共に、チーム活動に必要なプロジェクトマネジメント能力を確実に身につけている。

### 2. プロジェクトリーダー会とその役割

プロジェクトリーダー会は、各学生プロジェクトチームのリーダーによって構成される会である。月に1度リーダー会議を開催し、センターの行事、各プロジェクト活動の進捗状況などについて話し合いを行っている。リーダー会議では表1に示しているセンターの行事の詳細について学生たち自身で話し合い決定し運営している。

表1 年間行事

4月	新入生勧誘活動
5月	プロジェクト審査会
6月	プロジェクトマネジメント研修会
11月	工学教育に関するアジア会議
12月	中間報告会
3月	最終報告会

このように、プロジェクトリーダー会は個々に活動する学生プロジェクトを学生たち自身が評価する役割と、センターの活動へより深く学生たちが関わっていくための役割を担っている。

### 3. 新入生勧誘活動

創成学習開発センターでは、多くの新入生にセンターの活動へ興味を持ってもらうことを目的として、毎年プロジェクトメンバーによる新入生勧誘活動を行っている。

具体的には、入学式の前後に学生プロジェクトの紹介を掲載したビラの配布や、工学部の新入生オリエンテーションでセンターについての紹介プレゼンテーション、新入生をセンターに招いて各プロジェクトがポスターセッションやプレゼンテーションなどを行った。また、学部の垣根を越えて総合科学部の学生に対してもプレゼンテーションを実施した。

### 4. プロジェクト審査会

プロジェクト審査会は、センターでの活動を希望するプロジェクトの企画をセンター教員が審査する会である。審査会は毎年5月に開催され、会の運営はリーダー会が担当している。

審査の対象となるプロジェクトは、新しくセンターでプロジェクトを結成したいと希望する新規プロジェクト、および、前年度から引き続きセンターで活動したいと希望する継続プロジェクトの2種類である。

審査会では、各プロジェクトの代表者が1年間の活動計画と予算を説明する。それをうけて、センター教員による会議が開かれ、認証されたプロジェクトへの予算配分が決定される。

## 5. プロジェクトマネジメント研修会

プロジェクトマネジメント研修会は、プロジェクトを運営していく上で必要な能力や学生の自主性や共創性を養うことを目的に、プロジェクト新規メンバーをはじめとした全プロジェクトメンバーを対象に開かれる。今年度の研修会は6月に鷺敷の少年自然の家を借り、1泊2日の日程で行われた。研修会では、アイデアの出し方やまとめる方法を学び、それをもとに「ソーラー発電」、「LED」、「地域貢献」の3つのテーマで学生たちが商品の企画や事業を考え、まとめたものを企画プレゼンとして発表した。

リーダー会は研修会の日程や研修の内容、さらに予算の算出など多くの部分を計画している。研修会の中だけでなく準備の段階からマネジメント能力の育成ができています。

## 6. Asian Conference on Engineering Education (ACEE) について

ACEE は工学教育に関するアジア会議であり、アジア地域の大学の教員や学生の交流、工学教育に関する情報交換などを目的に、国内では徳島大学、国外では韓国海洋大学など多くの大学や高専からの教員および学生の参加を得て2011年10月に徳島大学で開催された。センターのプロジェクトチームからは8件の口頭発表を行い、44名の学生が参加した。

発表は口頭発表とポスター発表に分かれて、大学や高専での工学教育に関する取り組みや学生のプロジェクト活動の発表などが行われた。

この会議で学生たちは普段体験できない英語での学会発表を体験できた。また、発表を体験しただけでなく他大学や高専の学生と交流を深めることができ、活動に対するモチベーションが向上された。

会議の準備の期間中、リーダー会は原稿やアブストラクト等の提出を取り仕切り、創成学習開発センターはプレゼンテーション発表の英語指導や事前の発表練習などのサポートを行った。

## 7. プロジェクト中間および最終報告会

中間報告会は、学生プロジェクトの進捗状況を創成学習開発センターの教員や学生に報告し評価してもらうものである。

また、最終報告会はその年度のプロジェクト活動を報告、評価する会であるが、中間報告会とは違って前刷を提出する義務がある。前刷はその年度の創成学習開発センターの報告書にも掲載される。

リーダー会はこれらの報告会の日程やタイムテーブルを決定し、すべての準備を学生が自主的にしている。

これまでの報告会は創成学習開発センターの関係者を対象に行っていたが、今年度はセンター外の学生にも参加を呼び掛けた。

## 8. 和歌山大学との合同発表会

和歌山大学との合同発表会は、創成学習開発センターと和歌山大学の学生プロジェクト推進団体であるクリエが連携して毎年開催している学生プロジェクトの発表会である。

合同発表会の利点は、他大学の学生との交流やセンター以外のプロジェクトの発表を聞くことでプロジェクト活動への良い刺激になるところにある。

また、合同発表会は両大学の学生同士が計画し、学生の自主性を大きく育くむ機会になっている。

## 9. まとめ

創成学習開発センターでは学生達がリーダー会を自主的に組織してセンターの行事運営を行っており、自主創造性を互いに高めあっている。

年間を通じて創成学習開発センターの行事を計画、実施することにより、集団活動における協調性、コミュニケーション能力、企画立案力およびマネージメント能力が育成されている。